

国民の皆様へ

平成 27 年 9 月 7 日

ジェネリック医薬品を否定する一部の週刊誌記事について（再掲）

**特定非営利活動法人ジェネリック医薬品協議会(GEDA)**

**理事長 渡辺善照**

特定非営利活動法人ジェネリック医薬品協議会（GEDA）は、社会的及び科学的背景をもとにジェネリック医薬品（後発医薬品）への正しい理解が広く速やかに浸透し、着実に定着していくことを目標とし活動してきております。

これまで、一部の週刊誌報道がジェネリック医薬品の品質等を批判し続けており、ジェネリック医薬品の普及を否定しかねない記事が再三に亘って出されています。8月にも再び批判記事が掲載され、国民の皆様へ誤った情報のみが蔓延してジェネリック医薬品への不安が定着する恐れがあると当協議会では危惧しています。再度、今回の表明を行い注意喚起いたします。

ジェネリック医薬品の使用促進は、膨大な医療費のうち薬剤費を軽減しその分を他の医療費に有効に活用しようということもあります。結果として多くの国民の皆様へ有益もたらすものと考えられます。医薬品の効果（効き目）や安全性については科学的・医学的に多くの検証がなされており、ジェネリック医薬品ばかりではなく新薬についてもいろいろな課題があることは事実ですが、ジェネリック医薬品も厳しい科学的検証の結果使われているものであり、新薬に劣るものではありません。

週刊誌では、読者に品質が粗悪であるとの危惧を抱かせる外国の事例や劣悪な製造環境を思わせるような記事を掲載しています。しかし、我国の医薬品事情は品質が著しく劣るようなジェネリック医薬品が認められるような法や制度とはなっていません。ジェネリック医薬品の品質に対する問題は、例えば、国立医薬品食品衛生研究所のジェネリック医薬品品質情報検討会でいろいろな製品について科学的な検証が進められているところであり、その評価結果は公的に明らかにされてきています。製剤技術などの進歩を享受して格段に品質も確保され、いろいろな患者さんに相応しい付加価値のある製剤工夫が施されている製品もあります。

このような科学的・医学的評価に懐疑的あるいは否定的な人々の意見のみを過大に論調としている週刊誌の記事は、必ずしも正しい情報を皆様に提供しているものではありません。もし、ジェネリック医薬品について皆様が不安に思われることや疑問に思うことがございましたら、週刊誌記事を鵜呑みにせずに、専門家（医師、薬剤師）に相談されるか、我々GEDA等の団体にお問い合わせください。また、医薬品医療機器総合機構(PMDA)や国立医薬品食品衛生研究所ジェネリック医薬品品質情報検討会などからいろいろな情報が発信されていますのでご利用ください。

以上